

【12月まとめ】

11月は上旬まで最高気温が20℃を超える暖かい日が続くも、中旬からは気温が下がりようやく秋らしい気候を迎えた。野菜の生育面でも夏期の高温・干ばつによる不作が多くの品目で解消に向かい、高値相場からの軟化が続く月となった。特にトマトは前月、北日本産が不作の中で切り上がり、過去にない高値を記録したが、当月は高値反動と後続の熊本産の増量とで相場下落が続いた。大根・人参も前月まで北日本産の不作で高値だったが、中心産地が千葉に移り潤沢に出回ったことで平年並みの価格に落ち着いた。高値が続いたピーマンも宮崎産が増量して下旬には平年並みの価格に。一方で、ねぎは高騰が収まったものの、関東産は高温・干ばつの影響が尾を引き少なく、盛期を過ぎた北日本産の減少によって下旬に再び相場上昇。ほうれん草も月前半は潤沢だったが、下旬は気温低下で出回りが落ち着き価格が上向いた。玉ねぎは北海道産の不作により貯蔵量が少なく、価格は月を通して上昇傾向。野菜総体の中旬入荷量は

前年比101%。kg価格は235円(前年比103%)。12月も多くの品目で順調な出回りが予想される。大根・白菜・キャベツは関東産が生育順調。ねぎは関東産の生育が回復傾向で数量も徐々に回復してこよう。トマトは気温低下で着色が鈍くなっているが、大きな問題はない。胡瓜も暖冬のため安定的な出回りを見込むが、気温の急低下があると前年末のような大幅減もあり得る。玉ねぎは荷動き鈍いが引き続き出回り少なく高値基調。馬鈴薯は北海道産で発芽が多く出荷量は落ちているが、品質面で買い控えられ荷動き鈍い。玉ねぎ・馬鈴薯とも例年通り年末から年始しばらくは入荷がないため、月後半から在庫確保の動きが出てくる見込み。ほか主要品目も下旬には年末需要で引合いが出てこよう。12月野菜総入荷量は平年並みの予想。見通しkg価格240円(前年比101%)は平年を若干上回る。

12月主要品目産地別生育出荷情報及び単価見通し(全都扱い)

○強い ○#強保合 #保合 △#弱保合 △弱い 単位:円/kg,%
主産県:()内数字は前年の全都入荷量構成比 出荷現状:A…出荷開始、B…最盛期、C…末期
(状況は2023年11月20日現在)

本資料の無断転載はご遠慮下さい。
記載内容の文責は営業管理部業務2課
(電話番号:03-5492-2041)

だいこん

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
75	65	△#	#	○#	65	97%
販売見通し	千葉・神奈川産が生育順調。生育期の高温・干ばつで遅れ気味だったが回復。徳島産は競合を避け年内出荷分は前年比減の見込み。全体の予想入荷量は前年・平年並みと十分な出回りで、荷動きは鈍い気配だが、年末は例年通り需要高まり相場上昇となろう。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
千葉(54%)	ちばみどり(アグリタウン)	B	生育順調で豊作基調。太物傾向である。平年通りの問題ない出回りが見込まれる。			
神奈川(41%)	三浦市	AB	【青首大根】生育順調で平年通りの出回りが見込まれる。現状、日量30,000ケースの出荷で、12月のピーク時には50,000ケースの出方となる。 【三浦大根】前年の単価安や担い手減少の影響で作付は微減となっているが、これまでの恵まれた天候により作柄は良好。			

にんじん

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
154	140	△#	#	○#	130	110%
販売見通し	千葉産中心に埼玉産も出回る。高温・干ばつで生育は遅れ気味だったが回復している。予想入荷量は前年・平年並み。11月下旬の出荷ピークの影響を引き摺り、12月上旬は相場軟調の気配。下旬は年末の需要高まり相場上昇の見込み。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
千葉(81%)	富里市	B	生育順調でサイズはM中心ながらLも増えてきている。数量は平年並みの予想。			
埼玉(8%)	いるま野	B	生育順調。例年通り12月はさといもの作業で出荷量は減少する見込み。肥大もよく、2L~3Lの太物が増える。出荷量は平年並みだが、前年に比べると若干少ないか。			

はくさい

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
55	48	△#	#	○#	45	107%
販売見通し	茨城産を中心とした出回りで、高温・干ばつによる生育遅れは回復傾向。特に12月上旬は数量潤沢となる見込み。予想入荷量は前年・平年並み。年末は需要高まり幾分か相場上昇となろう。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
茨城(91%)	常総ひかりほか	B	適度な降雨あり生育は順調、肥大良好。安定的な出荷が続く、数量は平年並みにある見通し。			

キャベツ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
110	95	△	#	○#	65	94%
販売見通し	愛知産を中心に千葉・神奈川産の出回り。各地生育順調で数量潤沢なことから上旬の相場は軟化気配。年末は例年通り需要高まり相場上昇となろう。予想入荷量は前年を平年を若干上回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
愛知(52%)	豊橋ほか	B	台風等の影響もなく作柄良好、また暖冬見込みということもあり、生育順調。平年並みの出荷が見込まれる。			
千葉(27%)	ちばみどり(アグリタウン)	B	台風の影響もなく、生育順調。寒波次第では数量が落ち着く可能性はあるも、豊作基調で平年通りの問題ない出回りが見込まれる。			
神奈川(9%)	三浦市	AB	現状、日量5,000ケースの出荷で12月ピーク時には8,000ケースの出方に。足元では気温低下により出方が若干落ち着いたが、基本は生育順調で12月は平年通りの出荷を見込む。			

ほうれんそう

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
397	430	#	△#	○#	470	103%
販売見通し	11月上中旬にまとまって出たため、下旬からやや出方が落ち着く。12月中旬には数量回復も、クリスマス前は例年需要が低く相場は軟調か。年末は出回り量・需要ともに高まる例年通りの流れ。予想入荷量はやや多かった前年並みで平年を上回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
群馬 (44%)	利根沼田 太田市 ほか	B	作柄は良好。今のところ大きな病害は無く、12月は前年並みの出荷量を見込む。			
茨城 (33%)	茨城旭村 ほか	B	全体的に前進傾向で、作柄は良好。暖冬予報なので急な寒波が来なければ出荷量は例年並み。			

ねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
459	500	#	△	○#	380	130%
販売見通し	茨城・千葉・埼玉産、高温の影響で生育遅れあり。回復傾向ながら太物比率は例年に比べ低く、全体量も少ない模様。予想入荷量は前年・平年を1割下回る。11月中旬は北日本産の減少と関東産が増え切らず相場が高騰。12月中旬にかけて数量が増えれば相場は落ち着くと見るが、年末は例年通り需要高まり相場上昇。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
茨城 (25%)	岩井	B	11月に入り、ようやく猛暑の影響を抜け、圃場に植わっている作は生育良好にある。12月出荷についても前年並みに近い数量が出てこよう。サイズはL中心と太りも良い。			
千葉 (25%)	ちばみどり (そうさ)	B	定植時期の猛暑で大半が影響を受け、播き直した分が出てくるのは1月に降になる。徐々に生育は回復するも、12月は細物中心となり、前年に比べ数量は少ない見込み。			
埼玉 (16%)	ふかや (南部)	B	猛暑の影響で計画量は下回る可能性があったものの、現在は回復基調にあり、12月は前年比9割の出荷を見込む。現在のサイズはL中心だが、中旬には2L比率も前年並みに戻るだろう。			

レタス

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
143	170	#	#	○#	180	108%
販売見通し	静岡・兵庫・香川産など高温や干ばつの影響から生育遅れが見られたが回復傾向。11月中旬からは気温低下による生育鈍化や最盛期を過ぎた茨城産の減少で相場は上向く。12月上中旬は大きな山谷ないが下旬はクリスマスと年末絡みで需要高まる見込み。予想入荷量は前年・平年をやや下回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
静岡 (36%)	遠州中央 ハイナン ほか	B	定植期から現在の生育まで、天候良く生育順調。前進傾向で11月下旬に数量まとまり、12月も漸増となる。数量は前年並み～やや増の予想。大玉傾向となっている。			
兵庫 (12%)	あわじ島	B	地域によっては霜害による葉の破れなど被害があった。生育はやや前進しているが大玉傾向。現状では気温高で締まりが悪いが、今後は気温下がり良いものが出てこよう。			
香川 (14%)	香川県 (豊南)	B	10月中旬に豊南地区で降霜被害あり。その後の天候が良く、影響ある分の出荷も済んで今後の数量は回復していく。前年と比べると年内出荷はやや減か。			

きゅうり

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
323	320	#	○#	○#	470	95%
販売見通し	宮崎・高知・千葉産など生育は概ね順調。天候良く暖冬なので現状では安定した出回りが見込まれる。今後、気温の急低下があると前年のように減少して相場高まる場合もある。予想入荷量は前年をわずかに下回り平年をやや下回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
宮崎 (45%)	宮崎中央	B	天候良く順調出荷が続いており、現状の日量は前年同期を大きく上回る。12月上中旬には出荷の山場が来る見込み。今後も天候良ければ潤沢な出回りも期待できよう。			
千葉 (15%)	ちばみどり (旭)	B	作付面積は微減傾向ではあるが、生育は順調に推移。天候次第でピークは決まるが、年末には量が増えてくる見込み。			
高知 (13%)	高知県 (春野)	B	作付面積は前年並み。天候次第ではあるが出荷は順調で11月下旬から12月上旬が1回目のピーク、23日以降に2回目のピークを迎える見込み。			

なす類

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
382	390	#	○#	△#	430	105%
販売見通し	高知・福岡産を中心に生育順調だが、燃油高のため加温のタイミングは遅くなっている。ピークがいったん過ぎ、落ち着いた出方となるが天候が良いため安定的な出回りも予想される。年末商材ではないため荷動きに大きな波はないと見る。全体入荷量は前年・前年並み。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
高知 (60%)	高知県	B	11月に増量した反動から、12月前半の出方は落ち着く見込み。下旬には幾分か増量する予想。			
福岡 (20%)	みなみ筑後 (瀬高)	B	現状、山場がいったん過ぎ数量が落ち着いているが、天候良く生育は順調。12月は大きく増えることはないが安定的な出回りを見込み、数量は前年並みには出る予想。			

ピーマン

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
452	370	△#	#	#	360	74%
販売見通し	宮崎・高知産、生育は概ね順調。暖冬なので安定的な出回りを見込む。上中旬には宮崎・高知産が増加して数量十分、相場下げ気配。予想入荷量は前年並みで平年を若干下回るか。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
宮崎 (38%)	宮崎中央	B	11月上旬がピークとなり、現状はやや落ち着いた出方となっている。天候良く生育は順調。12月は中旬になれば再度出荷の山場を迎える見込み。			
茨城 (36%)	なめがたしおさいほか	B	抑制作が終盤となり促成作が漸増。促成作は生育順調だが抑制作の切り上がり早く、数量は多かった前年を下回るか。			
高知 (14%)	高知県 (とさし)	B	生育も出荷も概ね順調だが、10月～11月の前倒しの出荷により成り疲れになることも考えられる。気温次第ではあるが12月初旬にピークを迎える見込み。			

トマト

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
468	410	△#	#	○#	370	90%
販売見通し	熊本産を中心に愛知・栃木産などの出回り。各地生育は概ね順調。11月前半は高温による裂果が収まり増量して相場下落が続いたが、中旬は気温低下による着色鈍化により相場は下げ止まった。12月は各地順調な出荷が見込まれる。各地、作付減傾向が見られるため予想入荷量は前年・平年をやや下回る。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
熊本(43%)	八代地域	B	11月下旬時点で、多発していた裂果は収まったが着色が鈍い状況。12月に入れば圃場の加温も揃って出方は増えてこよう。今後は着花の良い段の出回りになるので12月は安定的な出荷を見込む。サイズはL・M中心。			
愛知(18%)	ひまわり豊橋ほか	B	花飛びしていた段が終了し、今後は順調な出荷を見込む。これまで小玉傾向だったが徐々に大玉の比率が上がっていく見通し。			

たまねぎ

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
185	200	#	#	○#	210	194%
販売見通し	北海道産、高温の影響で作柄悪く貯蔵量は少ない。次年向けの数量を残すため年内の出荷は抑えたかたちになる。予想入荷量は前年・平年を1割程度下回る。現状でも相場は高水準だが、12月後半は年末年始分の在庫確保のため需要高まり、相場はさらに上向く気配がある。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
北海道(97%)	きたみらいそらち南ほか	B	8月の高温の影響で不作。12月の流通量は、過去数年で最も少なくなる。玉流れは、L大とLが同程度。2Lの発生は、少ない。			

ばれいしょ類

前月上中旬	下旬見込み	上旬	中旬	下旬	見通し単価	前年比
118	120	#	○#	○#	130	107%
販売見通し	北海道産は発芽・品質低下が多く出回りは多くない。長崎産は定植の遅れはあったが適度な降雨あり生育回復傾向。全体の予想入荷量は前年・平年をやや下回る。12月後半は年末年始分の在庫確保の動きが出るが、品質低下による仕入れ控えもあり、相場上昇は限定的か。					
主産県	産地名	出荷現況	作柄状況			
北海道(81%)	ようてい今金町めむろほか	B	夏場から収穫期にかけて高温が続いた影響で、収穫した芋の発芽が多くなった。そのため、全体量が下方修正され123,000t⇒118,000tへ。年内の進捗60%を目指し、年明けの在庫は38,000tになる予定。例年に比べ出荷量は減る見込み。年内は26日出荷まで、年明けは10日ごろから。そのブランクを埋めるため12月後半の出荷量は増える。品種は「男爵」が多く「メークイン」・「キタアカリ」が続く。			
長崎(18%)	島原雲仙(愛野)	AB	定植期に高温にみまわれ発芽不良が発生。9月の干ばつも加わり生育が遅れている。11月の降雨により回復傾向にあるも、1週間ほど生育が遅れている。12月に入り、日々出荷量は増加、12月10日前後にピークを迎える。出荷量は平年並。主力品種は「にしゆたか」。			

その他の野菜

品目	県名	産地	生育・出荷情報
ごぼう	青森	十和田 おいらせ	平年並み。L・M中心。降雪の影響がなければ出荷は順調に続く見込み。
	茨城	なめがた しおさい ほか	年内は平年並みの出回りを見込む。
れんこん	茨城	県央 県南	前年並みの出荷を見込んでいる。地域によって雹害・高温障害があるため、切り上がりが早まるだろう。
春菊	宮城	みやぎ亘 (逢隈)	天候も良く生育は順調、病害虫の発生もない。出荷は前進傾向。今後の天候次第ではあるが気温の低下や日照不足などが続いた場合、生育不良が心配される。
	千葉	ちば みどり	平年並みの作柄だが各地生産者の数が減っているのが不安材料。
セルリー	静岡	とびあ 浜松	台風・水害などの天災もなく、ハウス物の出荷で例年通り2L中心の潤沢な出回りが予想される。各地・各生産者クリスマス販売の見込み作付けをしている。
ブロッコリー	香川	香川県 (三豊)	高温干ばつ期の定植分が12月上旬のため中旬以降にならなければ数量増はそこまで見込めない、大きな山はなくなっただらとした出荷が続くそう。クリスマスまでは潤沢な入荷見込みだが天候次第では年末年始については増量見込めない可能性あり。
	愛知	愛知 みなみ (田原)	定植は問題ないことから中旬以降の数量ベースは増加。年末までしっかりと数量が見込める。
かぼちゃ	鹿児島	-	台風被害なく順調な出荷見通しであり、作柄は前年の103%。本格的な出回りが始まるのは12月上旬の見込み。
	北海道	-	10月上旬に収穫をし、12月出荷まで残す用に貯蔵をするが、夏は暑く生育期の雨でイタミが発生し棚持ちが悪い状況。12月はわずかに出回る程度。
	外国産	-	【メキシコ】前年比3割減の見込み。11月下旬～2月下旬まで出回りが続くが、年明けから主力となるニュージーランド産がハリケーンの影響で減産する見込み。そのためメキシコ産で補填する形となり日量は少なくなる見込み。
きぬさや	鹿児島	鹿児島 いずみ ほか	作付面積が減少しており、年末需要で引き合いもあり天候次第では逼迫する恐れあり。
	徳島	市場町	
さといも	埼玉	いるま野 (狭山) ほか	夏場の高温干ばつの影響で全体的に小ぶりな傾向で数量は2割程度少ない見込み。15日頃からまとまった数量の出荷を見込む。

品目	県名	産地	生育・出荷情報
かんしょ	千葉	かとり ほか	「紅あすま」は作付け減、「べにはるか」「シルクスweet」は増え、千葉県下の作付け面積においては全品種トータルで前年並み。しかしながら高温干ばつの影響で歩留まりが低下し、気温低下とともに産地でのロスが多くなる見込みから年末は不足感が出る可能性あり。
		なめがた しおさい	作付面積は前年並み。夏場の高温干ばつの影響で歩留まりが低下、気温低下とともに産地ロス率が上昇する見込から、年末は不足感が出る可能性あり。
	徳島	里浦	年末商材として産地も出荷を集中させてくる。作柄は例年通りだが、貯蔵品のため生産者次第。
生しいたけ	岩手	全農 いわて	コスト高や夏場の猛暑の影響で、秋冬菌の作付減少、生産出荷量も減少している。
金時にんじん	香川	香川県 (綾坂)	前年と同じく出荷は潤沢にある予想。現状やや細めの流れだが、12月は2L中心の出荷となってくる見込み。
くわい	埼玉	-	夏場の高温で地上部の生育が旺盛で玉伸びが遅れ、小ぶり傾向。
ゆり根	北海道	ようてい (忠類) ほか	平年よりも生育鈍く、2L・3Lを中心に発生が落ち込む見込み。
山東菜	埼玉	南彩 (岩槻)	生育は良好で大玉傾向。作付された玉数は前年より多い。
八つ頭	埼玉	-	生産者の高齢化による生産者や面積の減少、また夏時期の高温の影響により、葉の広がりが悪く、圃場によって出荷量にバラつきあり。例年よりは少ない出荷となり、L中心の出荷となる見込み。今後の天候次第では数量がさらに減少することもある。
小松菜	埼玉・ 東京	-	例年より気温が高く、生育環境は良好であるが前進傾向となっている。12月10日頃の天候次第により、年末の出荷が決まる見込み急な冷え込みや天候不良により、出荷が停滞する可能性あり。
切みつば	茨城	ほこた ほか	茨城県産は経年的に作付け面積が減少。今季も同様減少の見込み。北海道についても夏場の気温の影響から数量減の見込みとなっている。
おおば	愛知	豊橋温室 ほか	平年並みの出荷数を見込む。
わさび	静岡	伊豆の国 伊豆太陽 ほか	夏の猛暑の影響で腐れが多発しており、中旬まで少ないまま推移。22日から予約相対のための集中出荷が始まる。
ゆず	高知	土佐香美 土佐あき ほか	潤沢な出荷。少雨で玉伸びせず、L・Mの小玉中心。